

ニューカレドニア

主要データ

国名〔英名〕	ニューカレドニア〔New Caledonia〕
面積(km ²)	18,575
海岸線延長(km)	2,254
人口(人)	282,754
人口密度(人/km ²)	15.2
GDP(bUS\$)	9.77
一人当り GDP(US\$)	34,553
主要鉱産物：鉱石	ニッケル、コバルト
主要鉱産物：地金	ニッケル、コバルト
鉱業管轄官庁	産業鉱山エネルギー局 (Direction de l'Industrie, des Mines et de l'Energie)
鉱業関連政府機関	なし
鉱業法	新鉱業法(2009年4月30日施行)
ロイヤルティ	なし
外資法	外資規制に関する第2003-196号政令(2003年3月7日付) および同政令の適用に関する省令(同日)
環境規制法 (環境影響調査制度、 環境・排出基準の有無等)	新鉱業法(2009年4月30日施行)に、環境関連の認可プロセス、 環境回復の義務等の環境保護に関する枠組みが盛り込まれた。
鉱業公社	なし
鉱業活動中の民間企業	SLN(Société Le Nickel)、SMSP(Société Minière du Sud Pacifique)、Eramet、Glencore、Vale、POSCO等
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、 労働争議、環境問題等)	・SLN社が操業する Kouaoua ニッケル鉱山で放火事件が多発、 2018年8月から操業を休止。 ・SLN社が操業するニッケル鉱山で、企業再編方針を巡り労働組 合のストライキが多発。
2018年のトピックス	・Vale社が同国で操業するニッケル鉱山の売却プロセスを中 止、2022年までに500mUS\$を投資することを発表。 ・SLN社がニューカレドニア政府から、ニッケル鉱石輸出量を 4mt/年に拡大するための認可を取得。

1. 鉱業一般概況

ニューカレドニアは、1864年に Garnierite (珪ニッケル鉱) の名前の由来となったジュール・ガルニエ (Jules Garnier) によってニッケル鉱石が発見されて以来、世界的なニッケル生産地であり、2018年のニッケル鉱石生産量はフィリピン、インドネシアに次ぐ世界第3位となっている。

ここ最近のニッケル市況の好転により、ニューカレドニアで鉱山操業を実施する各社は投資拡大に向けた姿勢を示している。2018年12月の報道によると、伯 Vale は2017年から売却プロセスを実施していた本土に保有するニッケル鉱山に関し、権益の一部を売却する計画を撤回して

2019年から2022年にかけて500mUS\$を新たに投資する計画を明らかにした。また、仏Eramet社は傘下のSLN社がニッケル鉱石輸出量を2018年時点の1.2mtから4mtまで拡大することに関し、ニューカレドニア政府からの承認を得たことが2019年4月に報じられている。

2. 鉱業政策の主な動き

特になし。

フランスからの独立の是非を問う住民投票が2018年11月4日に行われた結果、独立が否決された。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2016年 (千t)	2017年 (千t)	2018年 (千t)	対前年 増減比(%)	世界シェア(%)
ニッケル鉱石 Ni 金属純分量*1	204.2	215.4	216.2	0.4	9.0
コバルト鉱石 Co 金属純分量*2	3.4	2.8	—	—	—

(出典) *1: World Metal Statistics Yearbook 2019

*2: USGS Mineral Commodity Summaries, 2018, 2019。2018年データは、ランク外で記載なし。

(2) 主要金属生産量

表 3-2. 主要金属生産量

鉱種	2016年 (千t)	2017年 (千t)	2018年 (千t)	対前年 増減比(%)
フェロニッケル	67.5	73.2	82.1	12.2
ニッケルマット	4.2	—	—	—
ニッケル水酸化物	7.3	6.5	6.7	3.1
酸化ニッケル	28.5	30.9	25.8	-16.5
炭酸コバルト	2.5	2.3	1.7	-26.1

(出典) Direction de l'Industrie, des Mines et de l'Energie ホームページ「Les statistiques」

(3) 主要金属消費量

データなし。

(4) 主要金属輸出量

表 3-3. 精鉱・地金等輸出量

鉱種	2016年 (千t)	2017年 (千t)	2018年 (千t)	対前年 増減比(%)	主な輸出相手国
ニッケル 鉱石	82.6	92.0	94.0	2.2	韓国、日本、中国
フェロニッケル マット	65.4	73.8	83.7	13.4	中国、台湾、ベルギー*1
ニッケル水酸化物	4.3	—	—	—	
	6.9	7.1	6.6	-7.0	中国**2

世界の鉱業の趨勢 2019

酸化ニッケル	28.4	29.7	26.7	-10.1	中国、韓国、台湾※2
コバルト 炭酸コバルト	2.6	2.3	1.7	-26.1	不詳

(出典) Direction de l'Industrie, des Mines et de l'Energie ホームページ「Les statistiques」

*1: World Metal Statistics Yearbook 2019 (輸出相手国のみ)

*2: International Trade Centre (輸出相手国のみ)

(5) 主要金属輸入量
表 3-4. 鉱石等輸入量

鉱種	2016年 (千t)	2017年 (千t)	2018年 (千t)	対前年 増減比(%)	主な輸入相手国
鉄鉱石	-	0.0	0.1	58.5	南アフリカ

(出典) : International Trade Centre

4. 鉱山・製錬所状況
表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(権益: %)	鉱種	生産量(t) Ni 純分量	備考
<ul style="list-style-type: none"> ■ Thio ■ Kouaoua ■ Népoui-Kopéto ■ Tiébaghi ■ Poum 	SLN -Eramet (56) -STCPI (34) -日新製鋼 (10)	Ni 鉱石 (全品位)	58,000	2018年8月、度重なる放火事件の影響で Kouaoua 鉱山の操業を停止。
SMSP Operation <ul style="list-style-type: none"> ■ Ouaco ■ Poya ■ Nakety ■ Kouaoua 	Nickel Mining Company -SMSP (51) -POSCO (49)	Ni 鉱石 (全品位)	-	生産量は非公表
Koniambo	Koniambo Nickel -Glencore (49) -SMSP (51)	Ni 鉱石 (全品位)	28,300	フェロニッケル中のニッケル金属量
Figesbal	Figesbal (74.5) 住友金属鉱山 (25.5)	Ni 鉱石 (全品位)	-	生産量は非公表
VNC (Goro)	VNC: Vale Nouvelle Calédonie -Vale (95.0) -SPMSC (5.0)	Ni 鉱石 (全品位)	32,500	
Bienvenue	JC Berton Mines (100)	Ni 鉱石 (全品位)	-	生産量は非公表

(出典) : 各社ホームページ

STCPI : Société Territoriale Calédonienne de Participation Industrielle

SPMSC : Société de Participation Minière du Sud Calédonien

表 4-2. 製錬・精錬所生産状況

製錬所 精錬所	権益所有企業(権益：%)	生産物	生産量(t) 金属純分量	備考
Doniambo	SLN	フェロニッケル	54,250	
Koniambo	Koniambo Nickel	フェロニッケル	28,300	
VNC (Goro)	VNC	酸化ニッケル・ニッケル水酸化物 炭酸コバルト	32,500 2,104	

(出典)：各社ホームページ



図 4-1. 主要鉱山、製錬所、精錬所位置図

5. 探鉱状況

ニューカレドニアでは、既存ニッケル鉱山の周辺探鉱以外の初期探鉱やほかの鉱種をターゲットとした探鉱は活発には行われていない模様である。

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

表 6-1. 日本への精鉱・地金輸出量

鉱種	2016年	2017年	2018年	対前年 増減比(%)
ニッケル				
鉱石(千t)	1,798.7	1,540.0	1,857.7	20.6
フェロニッケル(千t)	23.9	20.7	21.5	3.9
酸化ニッケル(千t)	1.3	0.0	-	-
コバルト				
地金(t)	84.3	42.1	-	-

(出典)：日本貿易統計資料

(2) 日本企業による投資状況等

- ・日新製鋼が SLN 社の権益 10%を保有している。
- ・住友金属鉱山が、Figesbal 鉱山における 25.5%の権益を保有している。

7. その他トピックス

- ・豪 Pure Minerals 社、ニューカレドニアからニッケル鉱石の買鉱契約を保有する Queensland Pacific 社を買収

2019年5月、豪 Pure Minerals 社はニューカレドニアからのニッケル・コバルト鉱石買鉱契約や QLD 州での硫酸ニッケル・硫酸コバルト製造工場建設計画を保有している Queensland Pacific 社を買収したことを発表した。Queensland Pacific 社は、ニューカレドニアに拠点を置く Societe des Mines de la Tontouta 社及び Societe Miniere Georges Montagnat 社と最低5年間 600千t/年のニッケル・コバルト鉱石（下限品位：ニッケル 1.4%、コバルト 0.15%）の買鉱契約を締結しているとされる。

(2019.9.11 シドニー事務所 吉川竜太)